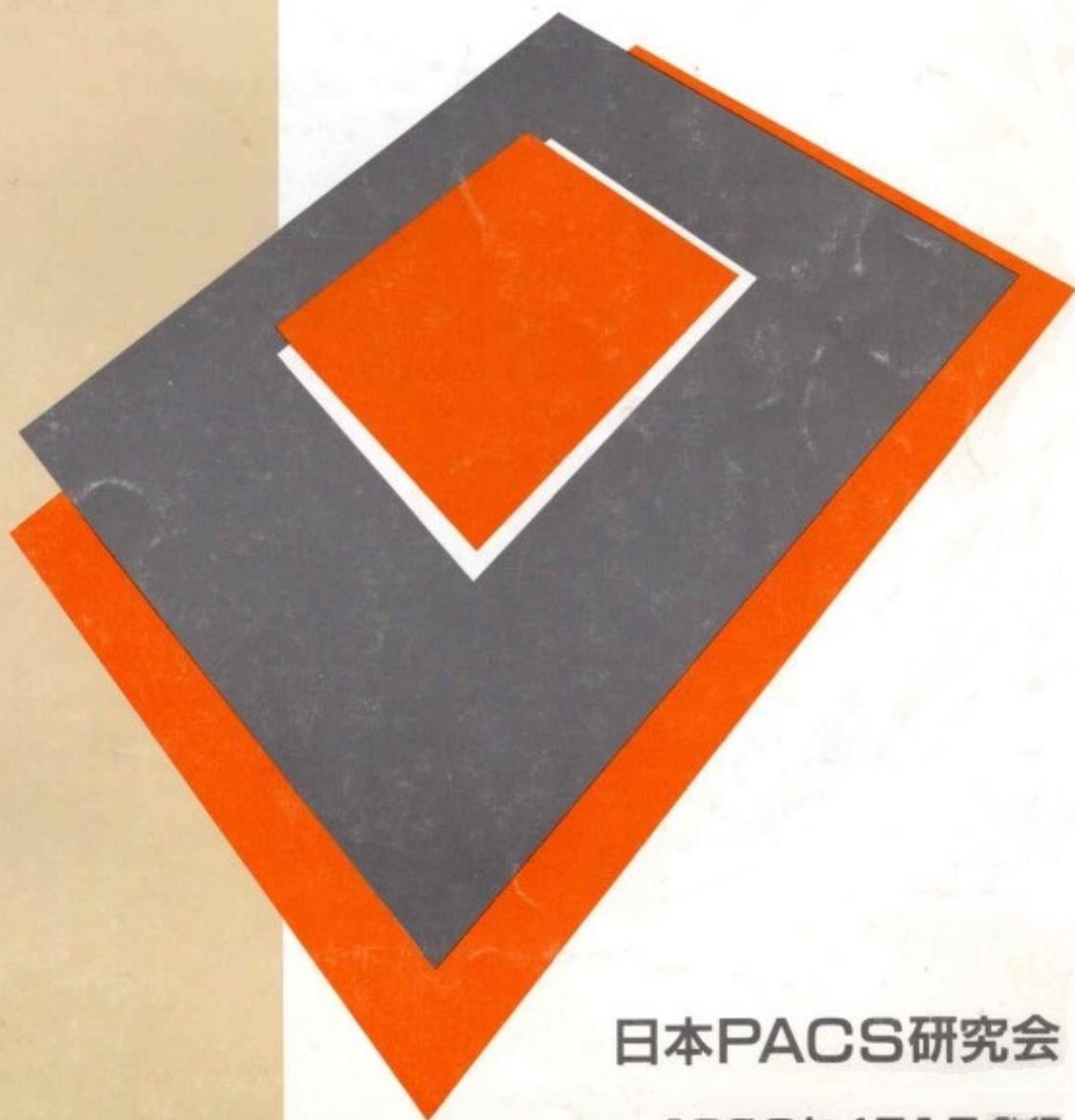


PACS ハンドブック '89
PACS HANDBOOK '89



日本PACS研究会

1989年4月1日発行

目次

巻頭言 序文

辻内 順平(日本 PACS 研究会会長・千葉大学)	
日本 PACS 研究会初代会長として	1
尾上 守夫(日本 PACS 研究会 前会長・リコー株式会社)	
日本 PACS 研究会について	1
牧野 純夫(東芝メディカル エンジニアリング株式会社)	
日本医学放射線学会会長として日本 PACS 研究会に期待すること	2
鳥塚 莞爾(日本医学放射線学会会長・福井医科大学)	
日本 PACS 研究会に期待する	
—日医放 PACS 委員会の立場から—	2
秋貞 雅祥(日本医学放射線学会 PACS 委員長・筑波大学)	
PHD と PACS の関連	3
池田 茂人(国立がんセンター)	
日本における PACS 研究会の現状と将来	4
飯沼 武(放射線医学総合研究所)	

I. 解説編

1. PACS とは? (定義・目的・メリット)	7
稲邑 清也(大阪大学医療技術短期大学)	
2. システム及びシステムコンポーネントの解説	
1) コンピュータ	9
(日本アイ・ビー・エム株式会社)	
2) 異機種コンピュータ間 ネットワークシステムについて	10
竹内 國臣(日本デジタルイクイップメント株式会社)	
3) 端末	
① 入力	12
土野 久憲(コニカ株式会社)	
② 表示	14
北原 照義(三菱電機株式会社)	
③ 出力	15
野中 賢明(コニカ株式会社)	
④ 画像ワークステーション	16
石原 芳幸(横河メディカルシステム株式会社)	
4) インターフェースの役割・機能	17
和途 秀信(株式会社 島津製作所)	
5) 記憶装置	
① 磁気	18
大田隆一郎(富士通株式会社)	
② 光	19
岡部 哲夫(株式会社日立メディコ)	
③ 半導体	21
牧野 克彦(日本電気株式会社)	
6) CR とその画像処理	22
中島 延淑(富士写真フィルム株式会社)	
7) 画像圧縮技術	23
青木 誠(富士電機株式会社)	
8) 電話伝送	24
尾崎 友輔(日本電気株式会社)	

9) 通信衛星	26
加藤 正男(株式会社 東芝)	
3. PACS導入の手引	28
喜多 絃一(株式会社 東芝)	

II. 現状編

1. トピックス	
1) PACSの使用経験	
①Experience in the Use of PACS : Present Problems and Future Plans	33
H.K. Huang(UCLA)	
②Challenges of Today and Plans for the Future in PACS	45
S.K. Mun(Georgetown University)	
③PACSの使用経験	48
湊 小太郎(京都大学)	
④PACSの使用経験	49
曾根 憲昭(富永記念病院)	
⑤PACSの使用経験	50
前田 知穂(高知医科大学)	
⑥Teleradiologyの現状問題と将来計画	51
平敷 淳子(埼玉医科大学)	
⑦北大病院 PACSの現状	52
伊藤佐智子(北海道大学)	
2) 先端技術の解説	
①診断情報抽出	53
鳥脇純一郎(名古屋大学)	
②光磁気ディスク	54
後町 長宏(オリンパス光学工業株式会社)	
③三次元画像処理	55
周藤 安造(株式会社 東芝)	
④デジタルデータレコーダ	57
武藤 浩一(日本電気株式会社)	
3) オランダに於ける PACS	58
高橋 勲(フィリップスメディカルシステムズ株式会社)	
4) Euro-PACSについて	59
加茂野 理(シーメンス旭メディテック株式会社)	
2. アンケート集計結果	60

III. 資料編

1. PACSと規格	71
喜多 絃一(株式会社 東芝)	
2. PACSに関する用語集	78
稲邑 清也(大阪大学医療技術短期大学)	
3. PACSに関する主たる文献	84
稲邑 清也(大阪大学医療技術短期大学)	
4. 製品紹介	91
5. PACS関連学会開催スケジュール	109